

# レベミル<sup>®</sup>を初めてお使いになる方へ。

監修：東京女子医科大学 糖尿病センター センター長 岩本安彦 先生



## 新しいインスリン製剤レベミル<sup>®</sup>は、どこが違うの？

レベミル<sup>®</sup>は、よりよいお薬を目指して開発された新しいインスリン製剤で、臨床試験前の研究段階から安全性の検討、確認を行っています。

### いままでのインスリン (NPH) 製剤の問題点

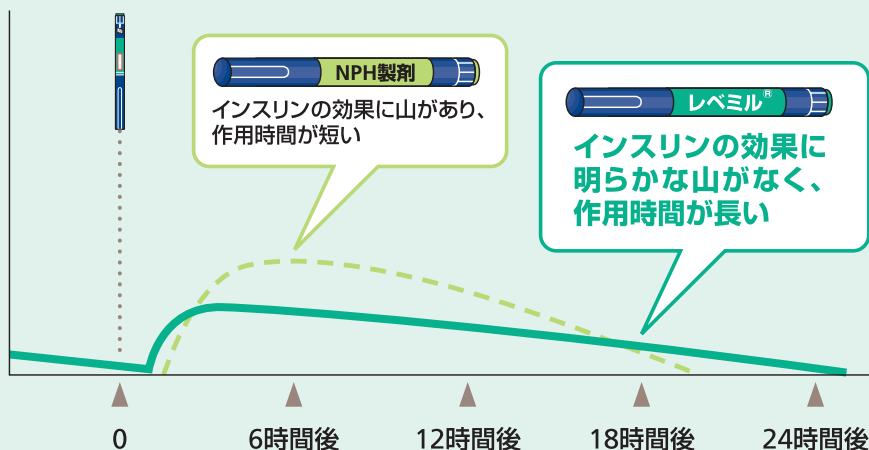
- 1日を通してインスリンの効果が持続しないことがある。
- インスリンの効果に山があり、これによって低血糖をおこす心配がある。
- インスリンの効果が日によって多少異なり、毎日同じように注射をしていても、血糖値がばらついてしまう。
- 使用前に、よく振って混ぜ合わせる操作が必要。



### 開発のポイント

- より長く持続させること。
- 効果の明らかな山をなくし、効きすぎて低血糖になる心配を減らすこと。
- 効果を毎日一定にし、血糖コントロールを安定させること。
- 振って混ぜる操作をなくすこと。

### 新しいインスリン製剤の1日の作用 (イメージ)



# 注射をするときの注意点は？

注射をするときは、下記の点にご注意ください。  
詳細は、かかりつけ医の指示に従ってください。



## 回数と時間

基本は1日1回夕食前または就寝前に注射をします。  
かかりつけ医の指示に従い、毎日決まった回数を同じ時間帯  
に注射してください。

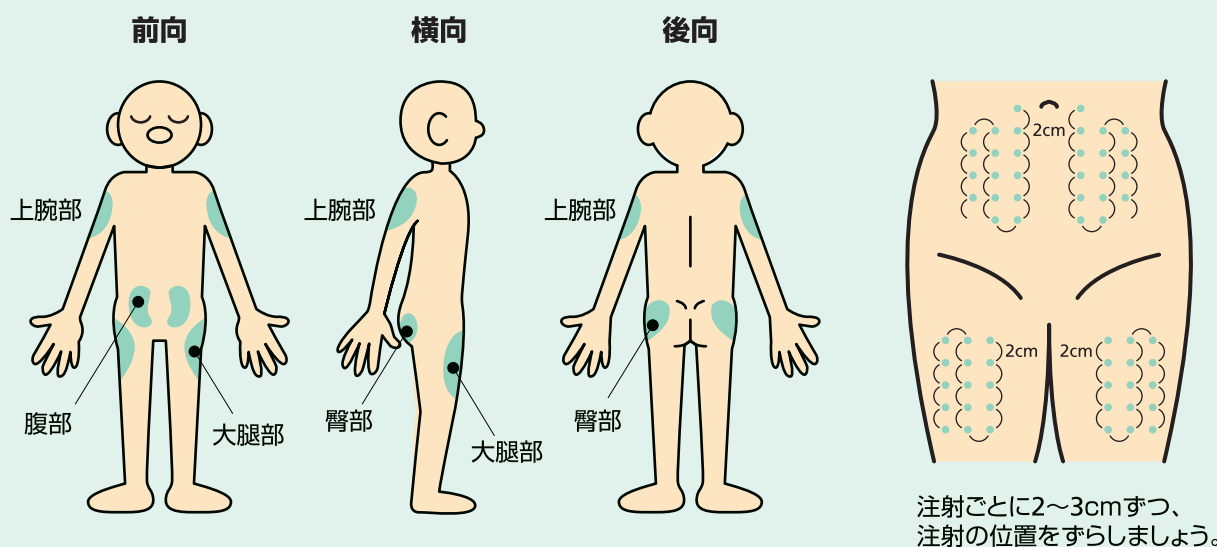
## 準備

透明なインスリン製剤なので、振って混ぜ合わせる必要が  
ありません。

## 注射をする部位

部位によって吸収速度が異なるので、選んだ部位（大腿部など）  
はあまり変えず、皮膚がかたくならないように毎回2～3cm  
ずつ位置をずらして注射をしましょう。

### 注射に適した部位



製造販売元〈資料請求先〉

**ノボ ルディスク ファーマ株式会社**

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1 明治安田生命ビル  
www.novonordisk.co.jp